

文学国語 単元指導計画

日時	令和〇年〇月〇日 (〇)	場所	2年〇組教室
クラス	2年〇組 (〇人)	授業者	〇〇 〇〇
科目名	文学国語	単元名	昭和初期の小説
使用教材	「山椒魚」 (井伏 鱒二)	使用教科書	『文学国語』 数研出版
教材観	<p>本教材は、文学の定番教材として、長年教科書に掲載されている。「山椒魚は悲しんだ」という冒頭の一文から、読者を一気に引き込む作品である。主題についてもさまざまな読みがなされ、作品論集が編まれるほど多様なアプローチがなされてきた。授業では「山椒魚」の置かれた状況、「悲し」むに至った経緯、登場する生物へのまなざし、「山椒魚」の心情、そうしたものを丁寧に読み取っていき、作品の主題について考えさせたい。「寓意小説」として読むことで作品に託された意味を考えさせ、一見分かりづらいように思える作品を自分に引きつけて読む楽しみにつなげたい。</p>		
生徒観	<p>全員が大学進学を目指しており、クラス全体が落ち着いて授業に向かうことができる。文学に触れる楽しみを感じている生徒も多く、作品の続きを考える創作活動などにも積極的に取り組む。自分の考えを表現することが得意でない生徒や、国語に苦手感をもつ生徒もいるため、ペア交流やグループ交流などを通して読みを深め合ったり、お互いの考えを表現し合ったりできるように、授業を展開する。</p>		
指導観	<p>本単元では、登場人物の状況の把握、心情の理解を行った上で作品解釈の多様性について考えたり、他者との交流を通して読みを深めたりする授業を行う。昭和初期の小説ということもあり、馴染みのない語句や表現もあるため、初めの通読の際にはそうした点への説明も大事にしたい。動物が主人公の小説という読み方もあるが、寓意小説として扱うことで、作品に込められた意味やそれぞれの動物がどのような人間の姿を象徴しているかを考えさせたい。</p> <p>言語活動として、寓意の説明文をグループで交流する。交流を行うことで、他者の考えに気づきを得たり、自分の理解や読み取りをさらに深めたりすることを期待する。</p>		

1 単元の目標

- (1) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 [知識及び技能] (1) ア
- (2) 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 [知識及び技能] (1) ウ
- (3) 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)エ
- (4) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の言語活動

本文の表現を根拠として作品の主題について考え、記述したものを相互評価する。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ((1) ア) ② 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ((1) ウ)	① 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 (B (1) エ)	① 本文を読み取ったり主題を考えたりすることを通して、他者との関わりの中で伝え合う力が高まるよう、本文の表現を根拠にした説明や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画 (全7時間)

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
第1次	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○寓話、寓意小説とはどのようなものを理解する。 ○段落分けをし、本文の構成を理解する。	[知識・技能] ①、②	「記述の点検」
第2次 (3時間)	○本文の読解。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第3次	○寓意小説としての読みを深める。 ○作中の生物がそれぞれどのような人間として描かれているかを考える。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第4次	○寓意小説としての主題を考える。 ○グループで読み合い、相互に評価する。	[思考・判断・表現] ①	「記述の分析」
第5次	○他の生徒の考えやコメントを参考に寓意とそう考えた理由を再考し、文章にまとめる。	[知識・技能] ② [思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○寓話、寓意小説とはどのようなものを理解する。 ○段落分けをし、本文の構成を理解する。	・これまでに読んだことのある作品を例に寓話、寓意を理解させる。 ・寓意は解釈が多様になることもあるため、交流を積極的に行うよう指示する。 ・根拠を本文に求めることを意識付けする。	[知識・技能] ①、② 「記述の分析」ワークシート
2	○第1、2段落の読解。	・「山椒魚」の置かれた状況を整理させる。	[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」ワークシート

		<ul style="list-style-type: none"> ・本文の表現を丁寧に拾うことで「山椒魚」の心情を考えさせる。 	
3	○第3、4段落の読解。	<ul style="list-style-type: none"> ・「山椒魚」にとって「小えび」はどのように映っているかを読み取らせる。 ・「山椒魚」の心情を本文の表現から考えさせる。 	<p>[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」ワークシート</p>
4	○第5、6、7段落の読解。	<ul style="list-style-type: none"> ・「山椒魚」が「よくない性質」をもつようになった理由を考えさせる。 ・「蛙」との関係の変化の原因を考えさせる。 	<p>[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」ワークシート</p>
5	○寓意小説としての読みを深める。 ○作中の生物がそれぞれどのような人間として描かれているかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「山椒魚」「めだか」「小えび」「蛙」に関する表現に注目させる。 ・交流を通して考えを深めさせる。 ・他者の着眼点を知ることによって自分の考えを深められるよう意識付けする。 	<p>[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の表現に基づいて人物像を考えているか、ワークシートの記述から分析する。
6 (本時)	○小説の寓意を考え、そう考えた理由を記述する。 ○グループで読み合い、相互にコメントをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「山椒魚」「蛙」などの人物像や本文中の表現を根拠に、寓意を考え、記述させる。 ・グループでの回し読みを指示し、コメント付けと意見交流をさせる。 ・他者の着眼点を知ることによって自分の考えを見つめ直したり深めたりできるよう意識付けする。 	<p>[思考・判断・表現] ① 「記述の分析」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回授業の人物像や、それぞれの登場人物の関わり方などから寓意を考えているか、ワークシートの記述から分析する。
7	○他の生徒の記述、コメントを参考に寓意を再考し、そう考えた理由を文章にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時と異なるグループで交流させ、考えを深めさせる。 ・他者の意見や自分へのコメントを参考にした上で、文章を仕上げさせる。 ・単元を通してどのような力が身についたかを振り返らせる。 	<p>[知識・技能] ② [思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ① 「記述の分析」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交流を通して読みが深まったか、記述内容と振り返りから分析する。

《本授業における評価の実際》

5 観点別学習状況の評価の進め方

「文学国語」の「内容」の〔思考力,判断力,表現力等〕「B読むこと」に関する指導については、「内容の取り扱い」(1)イに、「100～110単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること」と示されている。このことを踏まえ、本単元では、「B読むこと」に関する資質・能力を目標として掲げ、単元のまとまりの中でその育成を重点的に図る指導と評価の計画を示している。

(1)〔知識・技能〕の評価

〔知識・技能〕①の「言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している」状況を、登場人物の心情を本文に即して読み取っている姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、ワークシートの記述を点検して評価する。

本文の読み取りができていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、「心情を読み取るポイント」を確認させて取り組みを行うよう促す。

〔知識・技能〕②の「文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている」状況を、寓意小説の特徴を踏まえて記述できている姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、ワークシートへの記述を分析し評価する。

寓意を考えずに記述している状況を C と捉え、グループ交流での意見を参考にしながら書くよう促す。

(2)〔思考・判断・表現〕の評価

〔思考力・判断力・表現力〕①の「文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している」状況を、登場人物のキャラクターや寓意を考える場面において、本文の表現や自身の経験を根拠にして解釈できている姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、ワークシートの記述を分析し、評価する。

表現に基づかずに解釈している姿を C と捉え、助言したり具体的な例を示したりして考えられるように促す。

(3)〔主体的に学習に取り組む態度〕の評価

〔主体的に学習に取り組む態度〕①の「文章を読み取ったり主題を考えたりすることを通して、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている」状況を、回し読みのコメント付けや寓意のまとめの場面において、自分と他者の考えを比較し、他者の考えから気づきを得た記述ができている姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、ワークシートの記述を分析し評価する。

他者の考えをもとに自分の考えを深められない姿を C と捉え、他者のコメントを読み直し、自分との違いに注目するよう促す。

6 学習指導案(6時間目/全7時間)

本時の目標：ア 作品に込められた寓意を、本文の表現に根拠にして自分なりに考察することができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)エ

言語活動：寓意について記述したものをもとにペアやグループで意見交流する。

本時の展開：

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 5分	□本時の目標を確認する。	・ 前回の授業で考えた登場人物をもとに、作品の寓意を考えるということを理解する。 ・ 前回のワークシートの確認をする。	・ 単元冒頭で用いた寓話を例に登場人物の関連を説明する。

<p>展開① 20分</p>	<p>□『山椒魚』の寓意を考える。</p> <p>□考えを記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のワークシートの記述を読み返し、本文に立ち返りながら、『山椒魚』の寓意を考える。 ・ ワークシートに寓意を記入する。 ・ ペアで考えた寓意を交流する。考えの根拠についても触れながら交流する。 ・ ワークシートに自分の考えの理由説明を記述する。 ・ 書いたものを読み返し、伝わりやすい表現になっているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えた寓意を述べてから、理由や根拠を説明するよう指示する。 ・ 記述した寓意は本文のどのような表現から読み取れるか、根拠を考えるよう指示する。 ・ それぞれの登場人物の行動や人物像に触れながら理由を説明するよう指示する。 <p>【目標Aに対する評価規準と評価方法】</p> <p>規準：作品の展開や表現に基づいて解釈できている。</p> <p>方法：「記述の分析」（ワークシート、机間指導）</p> <p>[状況Cに対する手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のワークシートを参考にして登場人物の言動と置かれた状況から寓意を考えるよう促す。
<p>展開② 20分</p>	<p>◎グループで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4人グループで記述を回し読みし、コメントを付ける。 ・ 時間があれば、自分以外の人の考えを読んで、気づいたことや疑問に思ったことをグループ内で交流する。 ・ ワークシートに気づきや新たな疑問を記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寓意の妥当性、登場人物の捉え方、疑問点などについてコメントするよう指示する。 ・ 必要に応じて、本文の表現を確認させたりこれまでのワークシートを確認させたりする。
<p>まとめ 5分</p>	<p>□本時の振り返りをする。</p> <p>□次時の内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流を通して自分の読みを深められること、読みを深めることで新たな疑問が生まれるということを確認する。 ・ 次回で単元のまとめを行うことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、再度本文を読み返してくることを指示する。